WAVIO AV SYSTEM

POWERED SPEAKER SYSTEM

# GX-100HD

# 取扱説明書



お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

## 特長

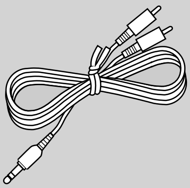
カタログ及び包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品の色を表す記号です。
色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

- ■ HDコンテンツのニュアンスを余すところなく再現する100kHz対応、新開発3cmリング型ツィーター
- ■ クリアかつ量感のある低域再生を実現する12cmA-OMFコーンウーファー
- ■ グランドラインの変動を防止するS.G.L.型1点集中ネットワーク回路
- ■ ハイクオリティ 15W＋15Wアンプ搭載
- ■ 音質調整回路搭載
- ■ 高品質音楽再生に対応する24bit/96kHzの光/コアキシャルデジタル入力端子
- ■ デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成する独自開発回路、「VLSC*（Vector（ベクター） Linear（リニア） Shaping（シェーピング） Circuitry（サーキットリィ））」を搭載し、飛躍的な音質向上を実現

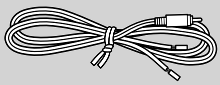
*VLSCはオンキヨー株式会社の登録商標です。

### 付属品

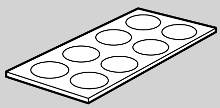
ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（　）内の数字は数量を表わしています。



●アナログ入力用接続コード A（1）
〔ステレオピンプラグ⇔ステレオミニプラグ（1.5m）〕



●Rチャンネル⇔Lチャンネル接続コードB（1）
（モノラルピンプラグ⇔スピーカーコード）



●スペーサー（8）

●保証書（1）
●取扱説明書（本書 1）
●ユーザー登録カード（1）

### 防磁設計について

一般にパソコンやテレビに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどのデリケートなものですので、ふつうのスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、パソコンモニターなどとの近接使用が可能となっています。ただし、設置の仕方によっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度パソコンモニターなどの電源を切り、15 ～ 30 分後に再びスイッチを入れてください。パソコンモニターなどの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合にはスピーカーをパソコンモニターなどから少しはなしてご使用ください。また近くに磁石など磁気を発生するものが置かれていますと、本機との相互作用によりパソコンモニターなどに色むらが発生する場合がありますのでご注意ください。

### お手入れについて

キャビネットは、時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めた液に、柔らかい布を浸し、固くしぼって汚れをふきとったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

# 安全上のご注意

## 安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

**電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。**

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

### 「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
| ⚠注意 | 誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。 |

### 絵表示の見かた

| | |
|---|---|
| △記号は「ご注意ください」という内容を表しています。 | 高温注意　感電注意 |
| ⃠記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。 | 分解禁止　ぬれ手禁止 |
| ●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。 | 電源プラグをコンセントから抜く　必ずする |

## ⚠警告

### 故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

### カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

### 接続、設置に関するご注意

**■ 通風孔をふさがない、放熱を妨げない**

禁止

- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（本機の天面から2cm以上、背面から5cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

**■ 水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない**

水場での使用禁止　水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない



GX-100HD(SN29344603).indd　3　　07.9.21　5:17:54 PM

# ⚠警告

## 電源コード・電源プラグに関するご注意

**■ 電源コードを傷つけない**

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

**■ 電源プラグは定期的に掃除する**

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

## 使用上のご注意

**■ 本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない**

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のダクトから異物を入れない
- 本機の上にダクトに入りそうな小さな金属物を置かない

**■ 長時間音がひずんだ状態で使わない**

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

**■ 雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、電源プラグに触れない**

接触禁止

感電の原因となります。

# ⚠注意

## 接続、設置に関するご注意

**■ 不安定な場所や振動する場所には設置しない**

禁止

スピーカーは強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**■ 本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない**

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗らないでください。

**■ 配線コードに気をつける**

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

## 電源コード・電源プラグに関するご注意

**■ 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する**

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

**■ 電源コードを束ねた状態で使用しない**

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

**■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない**

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

# ⚠注意

■ 長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■ 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 使用上のご注意

■ 音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■ 長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

## 移動時のご注意

■ 移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。
サランネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

■機器内部の点検について

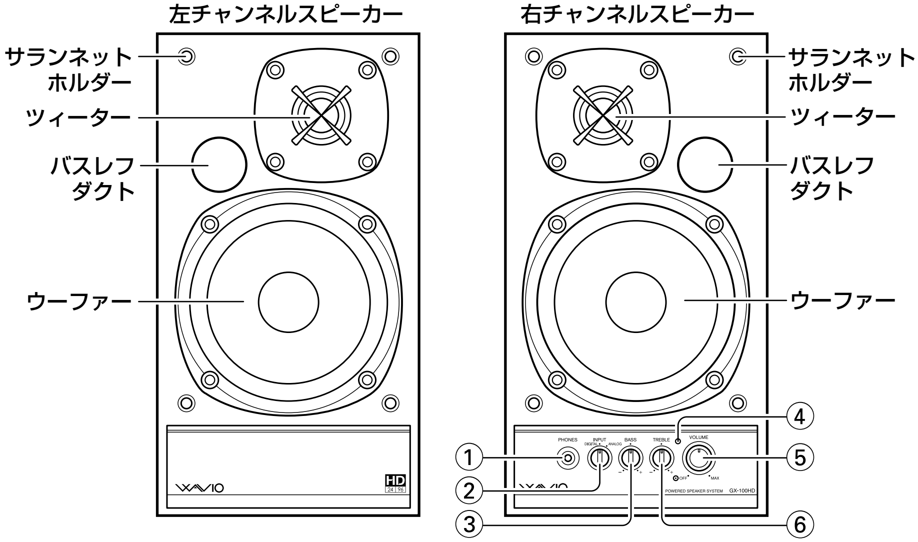
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりのたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

# 各部の名前と主な働き

## ■前面パネル




### ① ヘッドホン端子（PHONES）

ヘッドホンやイヤホンを接続します。接続するとスピーカーからの音は聞こえなくなります。

### ② 入力切換ツマミ（INPUT）

アナログ入力とデジタル入力の切り換えを行います。光デジタル（OPTICAL）と同軸デジタル（COAXIAL）の入力切り換えは背面パネルのセレクタースイッチで行います。

### ③ バスツマミ（BASS）

低音部の再生レベルを調整します。
ツマミを右に回すと、再生レベルが大きくなり、左に回すと小さくなります。
中央の位置がフラットです。

### ④ パワーインジケーター（POWER）

背面の主電源スイッチを「ON」にすると点灯します。⑤スタンバイスイッチ/ボリュームツマミが「OFF」の位置のときは赤色、それ以外のときは緑色になります。

### ⑤ スタンバイスイッチ/ボリュームツマミ（STANDBY/VOLUME）

スタンバイスイッチとボリューム（音量調整）を兼用しています。ツマミを右に回すと電源が入り、徐々に音量レベルが大きくなります。ツマミを左いっぱい（OFFの位置）に戻すとスタンバイ状態になります。

ご注意

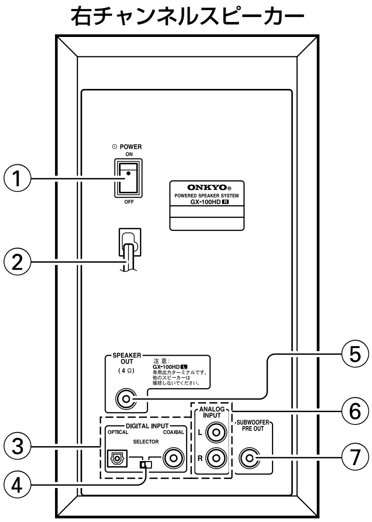
スタンバイ状態でも、背面パネルの主電源スイッチがONになっていますと回路には電流が流れています。そのため、背面のパネル部が熱くなりますが異常ではありません。

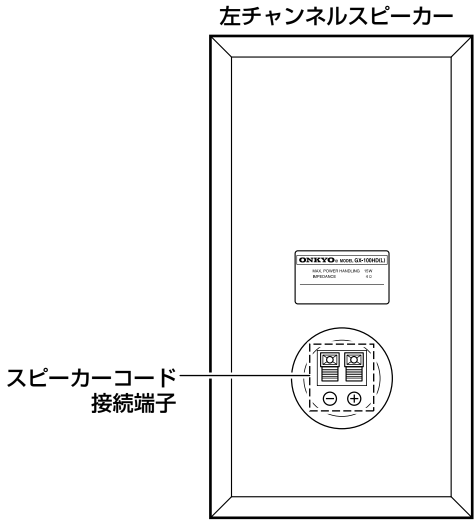
### ⑥ トレブルツマミ（TREBLE）

高音部の再生レベルを調整します。
ツマミを右に回すと、再生レベルが大きくなり、左に回すと小さくなります。
中央の位置がフラットです。

スピーカーユニット（ウーファー、ツィーター）部には触れないでください。
特に本機のツィーターの振動板には非常にデリケートな材料が使われています。物があたったり、手で触れると破損する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。

## ■背面パネル




① **主電源スイッチ（POWER）**
内蔵アンプの電源スイッチです。「ON」にすると、前面のパワーインジケーターが赤く点灯します。（パワーインジケーターは前面のスタンバイスイッチが「OFF」以外の場合は、緑で点灯します。）
長期間本機を使用しない場合には、この主電源スイッチを「OFF」にしてください。

② **電源コード**

③ **デジタル信号入力端子 (DIGITAL INPUT)**
OPTICAL： 光デジタル信号の入力用接続端子です。オーディオ用光デジタルケーブルを使用してください。（本機には付属していません）
COAXIAL： 同軸デジタル信号の入力用接続端子です。同軸ケーブルを使用してください。（本機には付属していません）

ご注意
本機はドルビーデジタル、DTS、AAC信号には、対応していません。

④ **デジタル入力セレクタースイッチ (SELECTOR)**
デジタル入力信号（OPTICAL/COAXIAL）の切り換えを行います。

⑤ **左チャンネル用スピーカー出力端子 (SPEAKER OUT)**
左チャンネルのスピーカーと接続するための端子です。必ず付属のRチャンネル⇔Lチャンネル接続コード（B）を使用してください。

⑥ **アナログ信号入力端子 (ANALOG INPUT)**
アナログ信号の入力用接続端子です。付属のアナログ入力用接続コード（A）を使用してください。

⑦ **サブウーファー出力端子 (SUBWOOFER PRE OUT)**
本機とお手持ちのアンプ内蔵サブウーファーとを接続するための端子です。

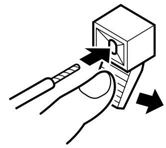
# 左右のスピーカーを接続する

付属のRチャンネル⇔Lチャンネル接続コード（B）で左チャンネルスピーカーと右チャンネルスピーカーを接続します。

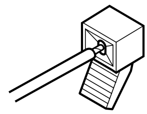
1.ビニールカバーをはずし、コード先端のしん線部をよじります。

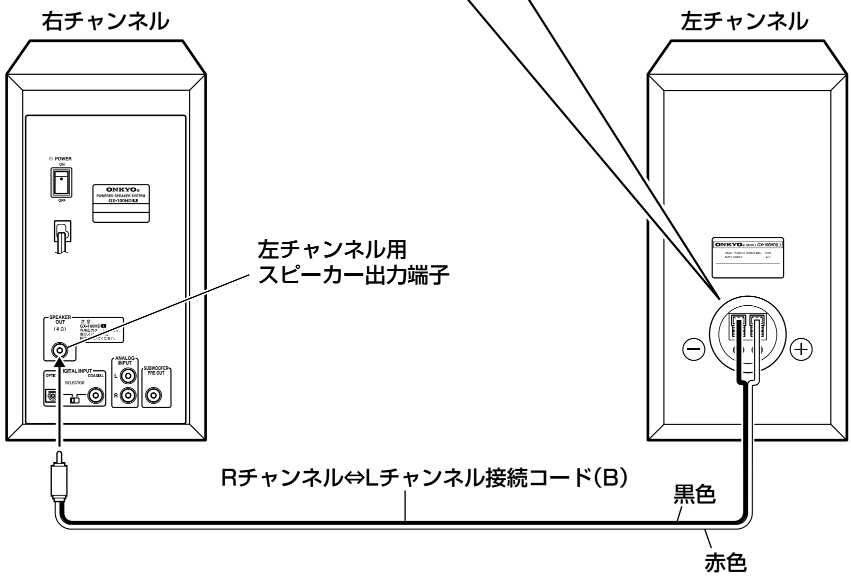


2.スピーカー端子のレバーを押しながら、コードの先端を奥までしっかりと差し込みます。
（黒一色の線を黒色のマイナス(－) 側端子に接続します。）



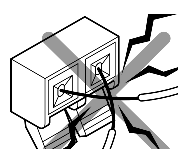
3.指を離すとレバーが戻ります。
コードを軽く引っ張ってみて、確実に接続されているかどうか確認してください。






ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源を入れる前には、必ずボリュームツマミを左に回して「OFF」の位置にしておいてください。また、本機に接続する他機の電源も入れないでください。
- 「左チャンネル用スピーカー出力端子」は左チャンネルスピーカーを接続する専用の端子です。他のスピーカーやアンプは接続しないでください。
- スピーカーコードの接続は、しん線部が隣の端子や金属部に触れていないかよく確認してください。接触したまま動作させると右チャンネルスピーカー内蔵アンプの故障の原因となります。

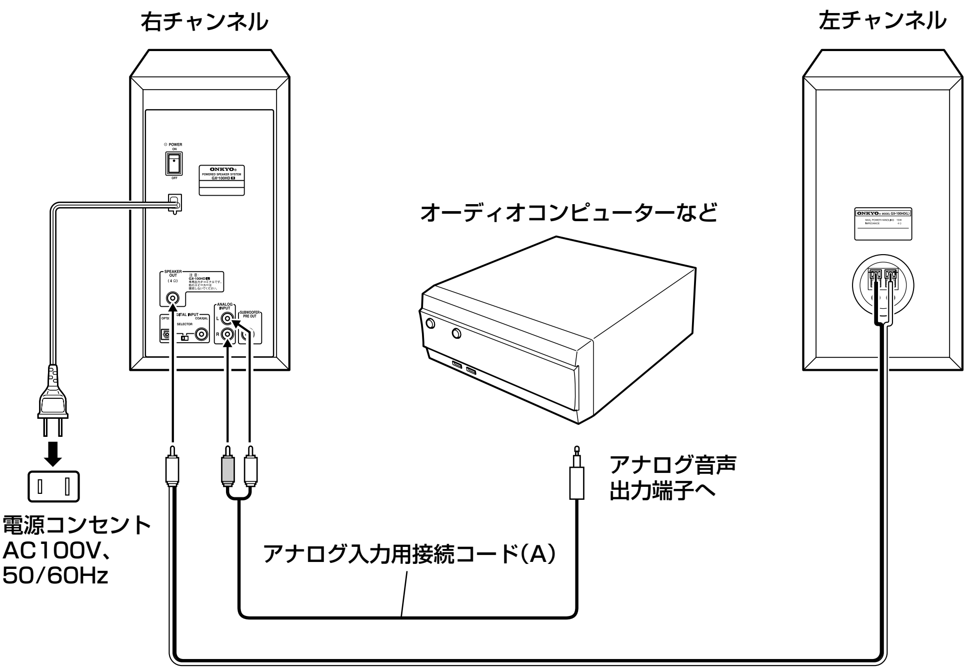


# 外部機器との接続のしかた

本機には2種類（光/同軸）のデジタル音声入力端子とアナログのライン入力端子があり、最大で3種類の音声機器やPC（コンピューター）機器を接続することができます。

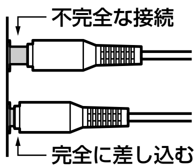
## ■アナログ入力を接続する場合

オーディオ機器、コンピューター本体またはサウンドボードのアナログ音声出力端子と本機のアナログ入力端子（ANALOG)を付属のアナログ入力用接続コード（A)で接続します。（R端子には赤いプラグを、L端子には白いプラグを差し込んでください）




ご注意

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全だと、雑音や動作不良の原因になります。
- 付属のアナログ入力用接続コード(A)、R チャンネル⇔L チャンネル接続コード（B)、電源コードは、いっしょに束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

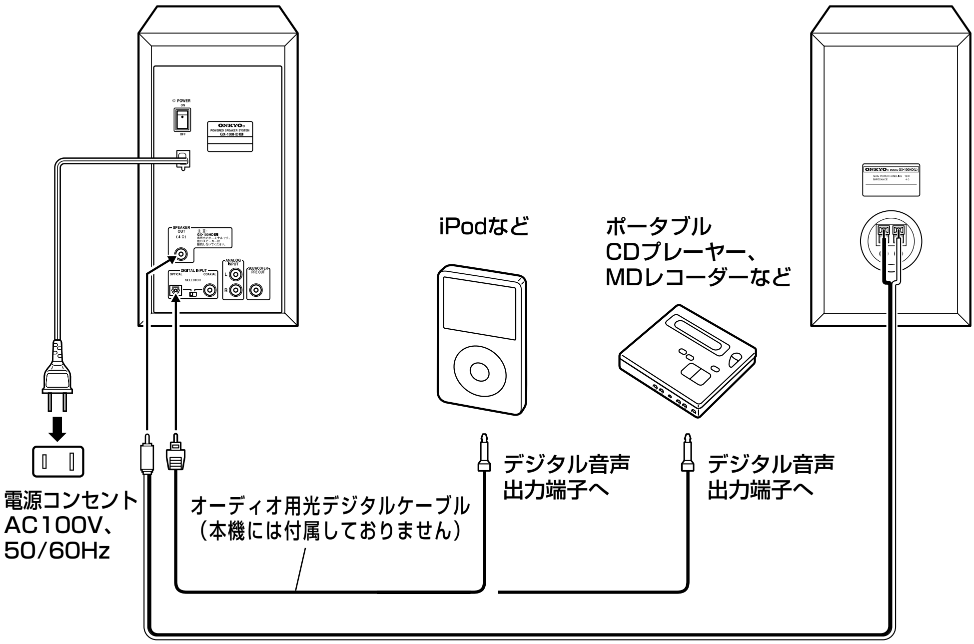


## ■デジタル入力を接続する場合

オーディオ機器、コンピューター本体またはサウンドボードのデジタル音声出力端子と本機のデジタル入力端子を接続します。

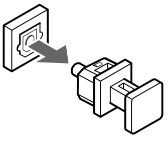
接続する機器に光デジタル出力端子がある場合はOPTICAL端子に、同軸デジタル出力端子がある場合はCOAXIAL端子にそれぞれの専用接続コードを用いて接続します。（専用接続コードは本機に付属していません。）

- ●両方のデジタル出力端子を備えている場合は、どちらか一方でかまいません。
- ●デジタル入出力端子からのデジタル信号は、L/R両チャンネルが1本の接続コードで通信されます。



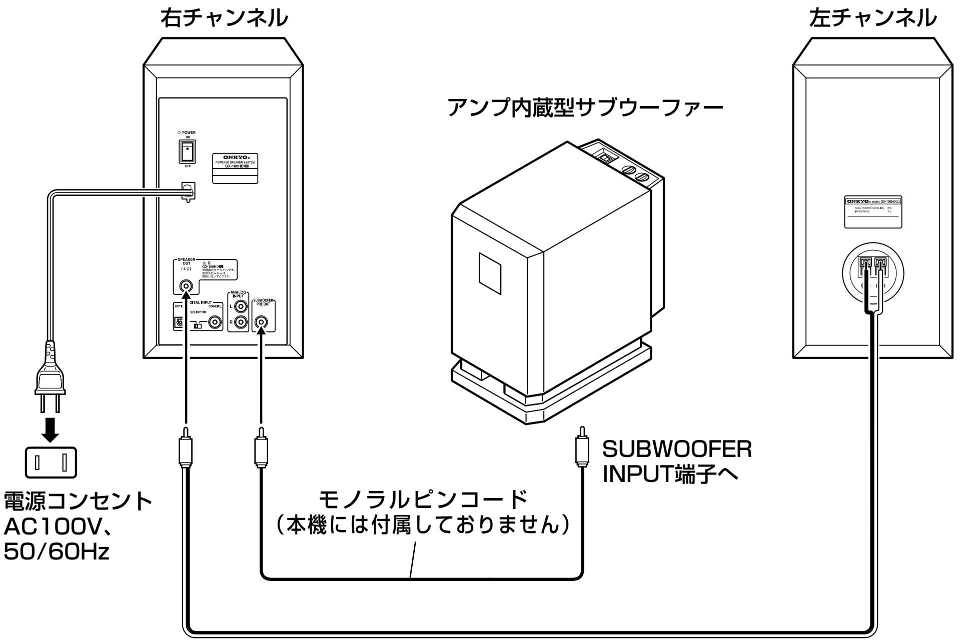

ご注意

- • OPTICAL端子には、保護用キャップが取りつけられています。
  接続時は、このキャップを取り外してください。
  使用しない場合、キャップは必ずもとどおりに取りつけておいてください。
- • すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。



# サブウーファーとの接続のしかた

本機のサブウーファー出力端子（SUBWOOFER PRE OUT）の出力は、左右の信号をミックスした信号で高域成分を含んでいます。
接続するサブウーファー（スーパーウーファー）は、ハイカットフィルター及び、ボリューム内蔵のものを接続してください。また、サブウーファーは、メーカー、機種により入力感度が異なります。ご使用になるサブウーファーによりレベルを調整し、お楽しみください。

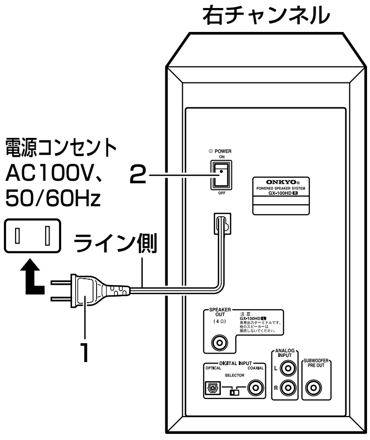



ご注意

- サブウーファー出力端子（SUBWOOFER PRE OUT）と、サブウーファーの入力端子をモノラルピンコードで接続してください。（本機には付属していません。）
- 電源を入れる前に、サブウーファーのボリュームを必ず最小の位置にしておいてください。
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

# 電源を入れる

すべての接続が完了してから、右チャンネルスピーカーの電源プラグをコンセントに接続してください。




**1.電源コードをつなぐ**

電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

！ヒント

**よりよい音で聞いていただくために**

本機の電源コードは極性の管理がされています。

電源コードの片側にラインの入っている側を家庭用電源コンセントの溝が長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合はどちらに接続してもかまいません。

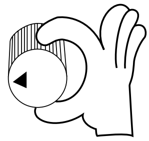
**2.電源を入れる**

背面パネルの主電源スイッチを「ON」側にしてください。
前面のパワーインジケーターが赤色に点灯します。

- 前面のスタンバイスイッチ/ボリュームツマミ（STAND-BY/VOLUME）を右に回すと電源が入り、パワーインジケーターが緑色に点灯します。

**音のエチケット**

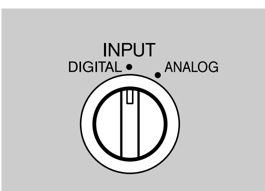
楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にしましょう。
特に静かな夜間には音量を下げてききましょう。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



# 入力を切り換える

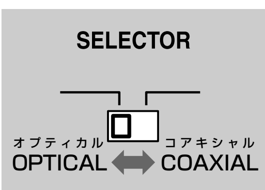
背面の各入力端子に接続された機器を選択します。

**●アナログ/デジタルの切り換え**




前面の入力切換ツマミ（INPUT）で、アナログ機器/デジタル機器の切り換えを行います。

**●デジタル機器の切り換え**

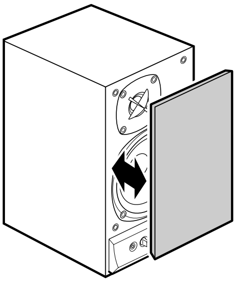


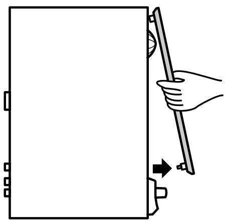

背面のデジタル入力セレクタースイッチ（SELECTOR）で、光デジタル/同軸デジタル入力（OPTICAL/COAXIAL）の切り換えを行います。

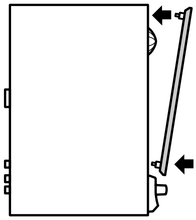
# サランネットの着脱

本機は前面のサランネットを取外すことができます。サランネットを付けたり、外したりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側を外します。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体から外れます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にある突起部を本体のサランネットホルダーに合わせて押し込みます。






# 設置について

- 本機のキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光の当たる所や冷暖房器具の近く、湿気の多いところは避けてください。
- 本機に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。スピーカー本体だけでなく、本機に内蔵のアンプや接続している機器が故障する原因となります。
- 振動や傾斜のないしっかりとしたところにおいてください。
- 本機は立てた状態で使用されるように設計されておりますので、寝かせたり、傾けたりしないでください。
- 本機は通常のご使用には十分耐えられますが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故の恐れがありますので、ご注意ください。
  ① オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
  ② ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音
  （抜き差し時は必ず本機の電源を切ってから行ってください。）
  ③ マイク使用時のハウリング
- スピーカーと設置場所との間は面接触より点接触のほうが一般的によい結果が得られます。またガタツキがあると質の良い低音が得られなくなりますので付属のスペーサーやコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。
- 本機の背面部はご使用の状況により、高温になることがあります。カーテンなどの可燃物への接触や、火傷にご注意ください。

ご注意

- 低域や高域を極端にブースト（増強）したり、低域や高域が異常に強調された特殊なソースを再生した場合、本来の信号音以外に異常な音を発生する場合があります。これは、故障ではありませんが、このような状態で長時間ご使用になると、スピーカーユニット破損の原因となりますので、音量を下げてご使用ください。
- 本機のデジタル信号入力端子はステレオ信号のみに対応しています。ドルビーデジタル、DTS、AAC信号などは再生しないでください。本機のアンプやスピーカーユニットが故障する原因となります。

# 困ったときは

本機が正常に動作しないときは、この表を参考にしてお調べください。これらの処置をしても直らないときは、電源プラグをコンセントから抜いて、「お名前」「おところ」「電話番号」「セット型名 GX-100HD」「故障状況」をできるだけ詳しく当社サービステーションまでご連絡ください。

| 症　状 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 電源が入らない。 | ●電源プラグの差し込みが不完全。 | ●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。(12ページ) |
| 音が出ない。 | ●ボリュームツマミが最小になっている。<br>●アナログ入力用接続コード(A)やRチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)の接続が不完全。<br>●入力切り換えが切り換わっていない。 | ●適当な音量にしてください。(12ページ)<br>●アナログ入力用接続コード(A)やRチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)を正しく接続してください。(8〜11ページ)<br>●アナログ/デジタルまたはOPTICAL/CO-AXIALの切り換えを行ってください。(12ページ) |
| 音が小さい。 | ●ボリュームツマミの位置が不適切。 | ●正しい位置にあわせてください。(12ページ) |
| 片方のスピーカーからしか音が出ない。 | ●接続が不完全。 | ●アナログ入力用接続コード(A)を正しく接続してください。(9〜11ページ)<br>●Rチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)を正しく接続してください。(8ページ) |
| | ●接続した機器のモノラル出力端子からモノラルピンコードで接続している。 | ●モノ→ステレオ変換アダプターを別途購入してください。 |
| | ●Rチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)の接続が不完全。 | ●Rチャンネル⇔Lチャンネル接続コード(B)を正しく接続してください。 |
| | ●アナログ入力端子への接続が不完全。 | ●アナログ入力用接続コード(A)を正しく接続してください。 |
| ブーンというハム音が入る。 | ●テレビ等からの誘導雑音。<br>●アナログ入力端子の接続が不完全。 | ●雑音源より離してください。<br>●アナログ入力用接続コード(A)を正しく接続してください。 |

# 主な仕様

**形式**
Rチャンネル：アンプ内蔵2ウェイ·バスレフ型
Lチャンネル：2ウェイ・バスレフ型

**入力インピーダンス**　47kΩ以上

**入力感度**　250mV

**実用最大出力**　15W＋15W（4Ω、JEITA）

**定格周波数範囲**　50Hz〜100kHz

**クロスオーバー周波数**　2kHz

**外形寸法（幅×高さ×奥行）**
Rチャンネル：140(W)×260(H)×194(D)mm
Lチャンネル：140(W)×260(H)×180(D)mm

**質量**
Rチャンネル：4.5kg
Lチャンネル：3.3kg

**使用スピーカー**
ウーファー：12cmA-OMFコーン型
ツィーター：3cmリング型

**デジタルインサンプリング周波数**
32、44.1、48、96kHz/24bit対応

**外部入力端子**
デジタル入力×2（光1/同軸1）
アナログ入力×1（RCAステレオ/金メッキ）

**外部出力端子**
サブウーファー出力×1（RCAモノ）
ヘッドホン出力端子×1
（φ3.5mm/ステレオ/金メッキ）

**電源**　100V（50/60Hz）

**消費電力**　34W

**その他：**防磁設計（JEITA)サランネット脱着可

仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

# 修理について

## ■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## ■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、修理を依頼してください。
修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、またはオンキヨーマーケティング株式会社までお知らせください。

▶ お名前
▶ お電話番号
▶ ご住所
▶ 製品名　GX-100HD
▶ できるだけ詳しい故障状況

## ■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーマーケティング株式会社へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

## ■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはオンキヨーマーケティング株式会社へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

# お客様ご相談窓口

**電話でのお問い合わせ：**
**オンキヨーコールセンター**
**ご購入相談、機能・取り扱い相談窓口**
**電話番号：050-3161-9555**

●受付時間：月～金曜日 10：00～18：00
（土・日・祝日・弊社の定める休業日を除きます）

**メールフォームによるお問い合わせ：**
**http://www.jp.onkyo.com/　から**
**オンキヨーホームページを開く**
↓
**▶　サービス・サポートをクリック**
↓
**「メール（フォーム）によるお問い合わせ」の「PC周辺機器に関するご購入相談・機能取扱」をクリックしてください。**

**製品に関する最新情報などは：**

ホームページアドレス
http://www.jp.onkyo.com/
http://www.jp.onkyo.com/wavio/
をご参照ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　（　　）

メモ：

**オンキヨーマーケティング株式会社**

販売元　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-0028

ONKYO HOMEPAGE
http://www.jp.onkyo.com/
http://www.jp.onkyo.com/wavio/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎ 050-3161-9555　受付時間　10：00〜18：00
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）

G0709-1

SN 29344603



* 2 9 3 4 4 6 0 3 *